

小学校

第1学年 学級活動（保健）指導案

指導者 T1 学級担任
T2 養護教諭

1 題材名 きれいながらだ

2 題材設定の理由

児童は学校生活にも慣れてきて遊びも活発になり、戸外で遊ぶことが増えてきた。そのため、体や衣服の汚れが目立つて多くなってきている。1年生では基本的な生活習慣の定着の指導が大切であるが、遊びや運動が活発になることから、体や衣服を清潔にする方法を指導することは、特に重要である。

体をきれいにすることは、家人の人や教師の話から、また、「清潔しらべ」の実践等から児童自身、手足や皮膚の汚れについて関心を持っている。

そこで、手足などの清潔に加えて体の一部である性器や排泄器にも目を向けさせ、体全体を清潔に保つことの大切さを理解させ、習慣づける態度を育てたいと考え、本題材を設定した。

低学年においては、自分の体について知ることと自分自身を大切にすることが重要である。そのため、自己の体についての理解を徐々に深めていくと同時に、本題材では、児童が自分の体を大切にすることに重点を置いて考えさせたい。

また、体をきれいにすることは、自分だけでなく他の人にとっても気持ちの良いことであることを押さえたい。

3 児童の実態（平成〇年〇月〇日調べ 1年生 男〇名 女〇名 合計〇名）

1 おふろにはいりますか。	①まいにちはいる ②ときどきはいる	名	②ときどきはいる 名
2 したぎをとりかえますか。	①まいにちとりかえる ②ときどきとりかえる	名	②ときどきとりかえる 名
3 あそんだあとてをあらいますか。	①いつもあらう ②ときどきあらう ③あらわない	名	名 名
4 トイレのあとてをあらいますか。	①いつもあらう ②ときどきあらう ③あらわない	名	名 名

アンケートの結果では、毎日おふろにはいり、下着も取り替える児童が多いが、2割強の児童が毎日は下着を取り替えないと答えていて驚かされる。また、手洗いについても、遊んだ後やトイレの後は、手を洗っている児童が多く、清潔にすることに关心はあると思われるが、洗い方は不十分と考える。体を清潔にする必要性や方法を理解させ、目に見えるところだけでなく、見えないところも清潔にすることを理解させる必要がある。

4 指導のねらい

体には汚れやすいところがあることに気づき、体全体を清潔にすることが分かり、実践への意欲をもつことができる。

5 学習計画及び評価規準

月 日	過程	活動の場	活動 内 容	評 価 規 準
月 日	事前	帰りの会	体の汚れや入浴の意識調査	体の汚れや清潔にすることに興味をもとうとしている。 (関心・意欲・態度)
月 日	本時	学級活動	きれいながらだ (汚れの部位・清潔にするわけ・清潔にする方法・性器の洗い方)	体を清潔にする必要性や方法を理解している。 (知識・理解) 自分の生活を見直し、体を清潔にするための改善点を考えている。 (思考・判断)
随 時	事後	教室・家庭	生活習慣の点検の援助指導 家庭への啓発	自分の体を清潔に保ち、体全体を清潔にできる。 (技能・表現)

6 本時の指導

（1）目標

体を清潔にする必要性や方法を理解し、自分を大切にしようとする心情や態度を育てる。

(2) 準備・資料

- ① アンケート結果表
- ② 小黒板
- ③ ぬらしたカット綿
- ④ ゴミ入れ
- ⑤ 文殊カード（短冊）
- ⑥ マーカー（水性）
- ⑦ おふろの絵
- ⑧ がんばりカード

(3) 展開

学習活動・内容	教師の援助及び評価（評）		資料
	T 1	T 2	
1 本時の学習課題についてつかむ。 (1) アンケートの結果を聞く。 (2) ぬれたカット綿で顔や手などを拭く。 <ul style="list-style-type: none">・ まっくろだ・ きたない・ きれいだよ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事前のアンケートをもとに課題への関心がもてるよう配慮する。 ・ ぬれたカット綿で顔や手などを拭かせ汚れを確認し、体には汚れやすいところがあることに気づかせる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">からだをせいにしよう。</div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ アンケート結果表を掲示する。 ・ ぬれたカット綿、ゴミ入れを配付する。 	アンケート結果表 小黒板 ぬらしたカット綿 ゴミ入れ
2 体が汚れやすいところについて話し合う。 (1) となり同士2人組になりブレインストーミングをする。 <ul style="list-style-type: none">・ 手・ 足・ 顔・ 首・ 耳のうしろ・ 髪の毛・ 歯・ おしり・ おちんちん (2) 汚れの原因を考える。 <ul style="list-style-type: none">・ 土・ 食べ物・ おしっこ・ ドロ・ あせ・ うんち	<ul style="list-style-type: none"> ・ ブレインストーミングにより体の汚れやすいところを自由に出させるように配慮したい。 ・ 全部あげるのは難しいと考えられるので、いくつでも良いことを助言したい。 ・ たくさん見つけられたことを養護教諭から賞賛してもらうことで意欲を高めたい。 ・ 汚れやすいところを確認する。また、汚れの原因にもふれる。 ・ 体の汚れは、手や足などの見える汚れだけでなく、洋服や下着に隠れている汚れもあることに気づかせる。 ・ 体を汚れたままにしておくと体に良くないことに気づかせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 文殊カードとマーカーを配付する。 ・ 机間指導をする。 <ul style="list-style-type: none"> ・ たくさん見つけたことを賞賛する。 ・ 児童から出た体の名称の語句を掲示する。 ・ 汚れの原因の語句を掲示する。 	文殊カード マーカー
3 体が汚れたままでは、なぜいけないのか話し合う。 <ul style="list-style-type: none">・ 病気になる・ くさくなる・ きたなくなる・ 気持ちが悪い・ 虫歯になる		<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童からの発言を黒板に掲示していく。 	
4 体の汚れを取るためにどうしたらよいか、発表する。 <ul style="list-style-type: none">・ 手を洗う・ うがいをする・ 歯をみがく・ 顔をあらう・ おふろに入ってきれいに洗う・ きれいな下着を着る・ 毎日下着を取り替える・ トイレの後はおしりをきれいに拭く	<ul style="list-style-type: none"> ・ 体験をもとに発表させ自分でできる方法を考えさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童からの発言を黒板に掲示していく。 	
5 養護教諭の話を聞く。	(評) 体を清潔にする方法について、考えることができる。 (表処：発表・観察)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 養護教諭の専門的な立場からの説明を聞くことで体を清潔にすること 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 入浴時の性器の洗い方や清潔に保つことを養護教諭から説明する 	おふろの絵

	必要性を理解させたい。	・ 性器の洗い方やトイレの時の拭き方については具体的に説明する。	
6 体を清潔にするために、がんばっていこうと思うことを発表する。	・ 立てためあてを発表させ、実践できるような働きかけをする。		がんばりカード
(評) 体を清潔にするためのめあてを立てることができる。 (カード・発表)			

7 事後指導への配慮事項

- 各自の立てた「めあて」が実践されている時に、「がんばりシール」を貼って賞賛し、継続して実践していくよう支援していく。
- 学年だより等による家庭への啓発により、保護者との連携を密にしていくことで家庭の協力を得、体を清潔にすることが習慣化されるように助言していく。

《 資料 》

・性器の洗い方

〈男子の性器〉

男の子のおちんちんの先は、皮につつまれている。おちんちんの先と皮の間に汚れがたまってしまう。たまたま汚れがおしっこの出るところから体の中に入り、病気になってしまふことがあるので清潔にしなければならない。

洗い方は、両手でおちんちんの先の皮をお腹の方へひっぱり、おしっこの出るところを出す。

おしっこの出るところが出たら、片方の手（右でも左でもどちらでもよい）で皮をおさえて、もう片方の手に石けんをつけて泡をたててから（自分で泡がたてられない時にはお家の人にたててもらう）洗う。おしっこの出るところのまわりは、皮膚がやわらかく、傷つきやすいので、手でなでるように優しく洗う。そして、シャワーで石けんを洗い流し、皮を戻す。

〈女子の性器〉

女の子は、おしっこの出るところが外から見えない。また、おしっこの出るところとうんちの出るところの近くに、外からは見えないが、女の子のおちんちんがある。おしっこの出るとそのまわりは、皮膚がやわらかく、傷つきやすいので、手に石けんをつけて泡をたててから優しく洗う。洗う時に、おふろばの床にぺたっとすわると、おしっこの出るところにばい菌がつくことがある。ばい菌がつかないように気をつけて洗う。そして、シャワーで石けんを洗い流す。

・トイレの時の拭き方

前から後ろへ拭く。後ろから前へ拭くと便がおしっこの出るところについてしまうことがある。特に女の子は、前から後ろへ拭く習慣をつける。